

あやベボラセン ボランティアのわ

No.172

おいかせ

かんばやし百姓塾

代表 ^{たかし}野田 尚さん(66)



日本中の里山が過疎化、高齢化に加え後継者不足で、農業を続けるのが難しい状況にあると思います。上林も同様です。このまま日本からお米や野菜を作る人がいなくなったら大変だと危機感を募らせています。

私たちの心と身体は、食べるものでできています。そのお米や野菜を作っている里山にもっと目を向けてもらいたいと、昨年春から「かんばやし百姓塾」を始めました。

幸いここには、もう50年近くも農業を投入していない貴重な田畑があり、お子様連れでも安心して土に触れていただけます。

プログラム前半の農業体験では、親子で土に触れ、自然に親しむと同時に、農業の現状も学べます。

後半の座学では、農業の歴史や慣行農業と有機農業、自然栽培の違い、種子法や種苗法などについて一緒に学んでいます。

情報板

かんばやし百姓塾 ※開講は4月～11月の基本的に毎月最終日曜日

- ◆4月22日(土)・23日(日) 稲の播種・苗作り
- ◆5月20日(土)・21日(日) お田植え祭
- ◆6月25日(日) 田の草取り・種の話

場所は綾部市五津合町大町の
農地、毎回午前9時に現地集合

問い合わせ ☎090-6216-1528(野田)

あやベボランティア総合センター TEL:40-1388 FAX:40-1389